

□随想□

風のある街

田中澄江



NHK「風のある街」でポートタワー前に立つ島かおりさん

この四月から、NHKの夕方と昼の時間で、「風のある街」という、青少年向きの連続テレビドラマを書いていく。

舞台は、神戸である。奈良の学校を卒業し、神戸の町の、それも丘の上の女子中学校で教師をしている若い娘を主人公にした。

娘の家は、神戸まで四十分から一時間以内で到達できる場所を想定し、そこに由緒はあるが、い

まは荒れはてている寺、土塀などのつつれも目立つところを、娘の父親の生まれた家にした。

わたくしは、神戸の町をあまりよく知らない。

戦後しばらく京都に住んでいた時、大阪まではよく出かけたが、神戸まで足を伸ばすことがなかった。神戸には、娘時代の修学旅行に、大阪に泊まって、夜の自由時間になったとき、一人でかけたことがある。

神戸というよりは、須磨・明石にあげられたのである。国文科の学生であったから、須磨・明石は源氏物語や謡曲の「松風」や平家物語の舞台として知っていた。

しかし、旅館の夕飯の時間が過ぎてからでは、それらの場所へ行くことは、すでにおそいことを神戸に向う電車の中で知り、神戸という駅で下りた。

大阪への帰る時間を駅で計算し、何分をこの町で費やせるかを、駅の大時計を見ながら算出したことを覚えていた。

それから元町通りというところを歩いた。東京にいても、横浜にさえあまり行ったことのなかったわたくしであったので神戸という町が、同じ日本と思えないほど、しゃれてハイカラな町のような気がした。

戦後の神戸には、二、三度、そこに住む友人を尋ねた時、町を歩いた。女のひとの洋服に京都あたりより一段とハイセンスだなあと感心させられるものがあり、洗い味わいを出しているのに見惚れた。洋服などというのは、ケバケバしいか、野暮ったいかで、なかなか洗いところまでは、いかないものである。

「風のある街」を書くことになって、これは大



「風のある街」で県庁前をゆく島かをりさん

事な舞台なので、六甲や、その裏山あたりや、町の中、埠頭、また、舞子の浜近くまでを、たびたび歩いた。歩けば歩くほど、神戸という町の魅力にとりつかれた。

六甲の山の雄大。裏山の閑寂。それでいて、阪急は、すぐ町のまん中に持っていてくれる。町はまたすぐ海に。いつかの夕暮れ、埠頭にゆくと魚を釣っている人がいて、びっくりした。

東京の町中で魚を釣るひとなど、何十年来と見たことがない。

黒鯛などが釣れると聞いて、またびっくりした。黒鯛などは海も海、荒磯の怒濤くだけ散るところで釣れるものだと思っていたのに。

舞子の浜近くの五色塚の古墳というのも、おもしろい。国道や鉄道にずたずたに切られているが、淡路島を眼前に控えた風景には、古来から海の要衝であった地利をしのべるものがある。

神戸に住んで、東京で仕事して、時に京都で遊んだら、すばらしい暮らさうと思う。

神戸に住むなら、やはり山際の傾斜地だが、いつか布引の滝へいって蛇に出あって震えた。わたくしは、大の蛇ぎらい。六甲には、蛇がいるのでしょうか？

△劇作家▽

□随想□



心のふるさと

木谷 実
え・津高和一

兵庫駅の近く、羽坂通りで生まれた。
その年に兵庫駅と滝道の上に、市電が初めて敷かれたというのを、後で教えられた。
これが、明治四十二年の出来事である。

物心ついた頃は、水木通りに住んでいた。その頃すでに、碁の道に入っていたので、自由に遊びに行く時間は、あまりなかったが、夏になると、小学校から汽車に乗せて、海水浴に連れて行かれ

た。場所は、和田岬という所で、たしか週二回位だったと思う。泳ぐことを教えられて、いたずらさかりの自分は、一生懸命だったらしい。水に顔をつけて泳ぐことは、やさしいが、顔をあげて泳ぐことのむつかしさを、この時知った。一度おぼれかかったことがあり、その時から一段と泳ぎは上達したようである。

後に、平塚市に住むようになり、相模川に投網に行き、川下を茅ヶ崎側より、地下タビのまま横断して家族をはらはらさせたことがある。いくら泳いでも背が立たなかったのは、冷汗の思いであつた。

神戸の新開地は、もと湊川といつていた所を埋め立てて、その水を西の方に流し、それが現在の新湊川ということである。

新湊川の奥の方に、池がいくつかあり、その頃一番池から十番池までであるといつていた。そのどの池か分らないが、よくそこへ泳ぎに行ったり「トンボ」取りに行つたものである。帰りの道すじに、神港商業という学校があり、子供心に大きな学校に見えた。

海水浴では、境浜海水浴場にもよく行つたもので、景色のよいことと、あめ湯の美味しかったことは、いつ迄も忘れられない。

後年布引の滝に行く機会を得て、この大都市の真中に、このような浮世ばなれを感じさせる良いところのあるのに驚いた。

摩耶山に登り、そこに書いてある物を読んだ時赤松円心入道が摩耶山にたてこもり、北条勢をくいとめたという意味のことを知り、赤松円心は自

分の家の系図の中に出て来る祖先の一人であることを知つていたので、非常に興味深く感じたことである。

ある時、九州から船で帰つた時、神戸の街や山々を海上からながめ、その美しい景色は、素晴らしいと思つた。

神戸は、かぎりない愛着と、また心のふるさととしての思い出はつきない。また、私の大きなほりでもある。

△棋士・九段▽

木谷実氏のこと

△日本棋院棋士、九段。▽

神戸に生まれる。少年時代より頭角をあらわし「怪童丸」と恐れられた。昭和初期に呉清源と共同で発表した新布石は囲碁界の発展に大きな足跡を残した。その強さには定評があるが、今日まで不思議とタイトルに縁がない。現在病氣のために本因坊戦、十傑戦等に出場していない。女流棋士木谷礼子四段は娘さんである。

□随想□

ちらばっている
つくりばなしを

港野喜代子
え・津高一



私は神戸に縁が深い。

小学校時代から、船乗りの父親を迎えに行ったり、送って行ったりしてひとりで大阪と神戸を、度たびゆききした。

はじめて買ってもらった大正の変な洋服や靴も神戸。はじめてたべたトマトや赤かぶらも神戸。

天津栗や、龍眼肉などの味。酒のみの父親に連れ立って道に迷っては、ぐるぐるまいた神戸の地図は、色んな角度から今も、私の中に面白い伝説になっている。

結婚して最初の十年間も神戸。だから、子ども

たちは四人とも神戸生まれだ。

西は舞子や垂水、須磨、兵庫。東は御影、住吉野寄、岡本、本山。たて道、よこ道、なかなかかめぐれない方ぼうに、色んな思い出が散らばってもある。

そして、そのどこにも、私のくらしの、根っこもなければ葉かけもないまったくきれぎれのフィルム。だが、私は、そんな神戸を、時どき自由に焼増して見ることにしている。

このあいだもインドの映画『大地のうた』(PATHER PANOHALI)を見ていて、私は

三十何年前、神戸にいたインド人のバイチャンドさんと、その家族を、はっきりに思い出した。

サタジット・ライの『大地のうた』は一九二〇年ごろのベンガル地方の、小さい村の思いきり貧しい家族の物語りであって、バイチャンドさんは大きな貿易商会の支配人であった。その彼が勤め婦りの夕ぐれの市場などで、背をかがめて、野菜や果物を、その品質と値を、ていねいに、根気よく吟味していた。あの淋しいほどの、のろくさい動作を、私は映画の中で何度も思い合わせたのだ。

また、お正月に、彼の家に招かれたら、びっくりするほどやせこけたお婆ちゃんが現われて、高い声でインドの昔話を熱心にきかしてくれて、それを日本語の上手な若い奥さんが歌のように通訳してくれたこと。それらが、『大地のうた』の人物たちの重なってしかたなかった。バイチャンド家のその日の食卓の、うすいカリカリの揚げパンや細長いさらさらのご飯、口あたりが軽くて香りのきついカレー、こまごまとした色彩の料理を盛りあげた鉢や皿のふちどりが、スリッパのも、家具のも、同じもようがあった。キョロキョロしている私に、低い静かな声、大きな眼で、「たのしいですか、気に入りましたか」と問いつめた彼の表情。童話用に、とっておきみたいな大きい冬のイチゴに生クリームをたっぷり飾りこんで、大きな飾り皿ですすめてくれた、あの長細い、暗い指さき。その日のおみやげの布地や、ガラス玉なども、大正時代の神戸とセットになって、妙に『大地のうた』の風物が私に実感をよんだ。

——神戸は決して中世紀のガラクタ屋の手帳で

はないよ——それも私の言いたいことだが、ビル
のそびえ競いや、地底のえぐり競いや、人と車の
渦で街々が変りに変りゆくことは大阪も神戸も同
じだから、今はそれを変ったと言わないことにし
て、一つの街が、すみのすみまでほんとうに変わ
りきつてしまふまでにはまだまだ、ゆうゆうと『大
地のうた』の時間があると云える。

いそぎの用事などで、神戸をちょっと、かけぬ
けていても、私はきつと誰かに出会う。その時
「まあ久しぶりね」ぐらいならよいが、「十年ぶ
りね」とか「二十年ぶりよ」とか、「もう三十年
になりますね」、「四十年めですよ」とかになる
と、とっさには昔話もあり遠すぎて、わずかに
子や孫の現状報告ということになる。

その子や、孫たちにもとりまぜて、私はこれか
ら、昨日と明日のつくりばなしを、せつせと書
いて、私の神戸地図のなかに、ちらばして歩くつ
もりだ。話に話がからみあえば、国籍なんか不明
でよい。味のある伝説と、味のあるリアリズムそ
んな世紀の自由さを、これからの新鮮さで、大い
にもやして行けるアジアの、そんな地形を神戸は
抱いている街でもある。

枯草の一角から

両手をさしのべて

海を、山を、屋根屋根を

ひと息、胸ふかく吸いこむとき

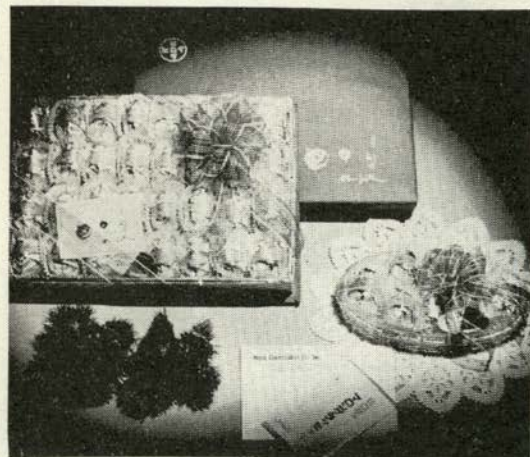
霧笛もよし、足もとの朱い実もよしと

見知っているはずの街のすがたに

見知らぬ明日の地図を重ねる

(詩人)

謹賀新年



洋菓子の ヒロタ

本社★尼崎市今小路北小袋29
 〈神戸〉元町店・三宮秀品店
 さんちかスイーツタウン
 〈大阪〉新大阪駅前・富国店
 大阪駅東口店・梅新街・ウメダ店
 戎橋店・ナンバ店・天王寺店
 天満店・塚本店・豊中店・尼崎店
 守口店・淡路店

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

西 店 / 三宮センター街・電話 33-8836 (代)

東 店 / 三宮センター街・電話 33-0629

三宮店 / 三宮地下街・電話 39-4303

東京

銀座北店 / 銀座並木通り・電話 573-5298 (代)

銀座南店 / 銀座並木通り・電話 572-4847
 (京阪神銀座タウン)

頌
春



朝日麥酒株式会社



飲もう!!アサヒの<生きた味>

飛躍の年開港100年祭をむかえる神戸

〔出席者〕

原口 忠次郎

神戸市長

牛尾 吉朗

ウシオ工業K.K.社長
日本青年会議所副会頭

南部 圭三

光印刷K.K.社長
神戸青年会議所理事長



★開港一〇〇年を記念して世界の三姉妹港誕生！

編集部 今年はいよいよ神戸開港一〇〇年をむかえるわけですが、神戸市として新しい期待をもつてのぞむ年だと思っています。ああもしたい、こうもしたいと新年にのぞんでいろいろお考えになっておられることをザックバランにお話願います。

牛尾 市長さんのお話はやはり、夢のかけ橋、国際空港、ポートアイランド、コンピナートの四つが中心になると思うのですが、町づくり、人づくりの問題について、神

戸市をどういう形で完成させる夢がおありなのかお話し願えませんか。

市長 私は変な話ですが、私自身は神戸市のために生まれてきたのではないかと思うのですよ。私は明治22年生まれますが、神戸市にはじめて市政がしかれたのが明治22年なのです。偶然、同じ年なのです。

それから私の過去において、同じところに十七年もいたということ、その前に神戸土木出張所長として十四年から十八年までの四年間いたわけです。さらに二十年から二十二年までの二年あまりは助役、復興本部長を勤めていたわけですからそれを入れると、もうすでに20年をすぎています。自分の人生の大部分は神戸ですごしたことになるわけで、故郷にだって二十年もいなかったのだから、なにかしら因縁があるように思えてならないのです。

今年は開港一〇〇年祭をやるわけですが、国際港務協会の会議が東京で開かれるのです。四十カ国四〇〇人の港務関係のオーソリティがあつまるわけですが、そのあと全員を神戸へ招待します。神戸市中央体育館でやりますから市民も3、4千人ほどあつまってもらおうと思っています。神戸に一番関係の深い高松宮殿下にもおいでいただくことになっています。



牛尾 吉朗氏

そのときに神戸港はシアトル港と姉妹提携をします。それと同時に、世界一の港であるロッテルダム港とも提携を結ぶことになっています。今までは市同志の提携でしたが、港同志の提携は世界でもはじめてのことです。神戸港とシアトル港とロッテルダム港とは三姉妹になるわけです。百年祭の記念として、永久に残ることだし、前から考えていたのだが、私は神戸港を東洋のロッテルダム港にしたいと思ってやっているのですよ。

提携式にはシアトルから提携委員長ほか7人。ロッテルダムからは市長は都合でくることができないが市代表として港務局長がこられることになっています。

ですから42年は神戸にとって一大飛躍の年であるのですね。これを機会に、おおいに飛躍してもらいたいと思っています。そうすることが神戸港を世界に大きくクロージアップさせることなのです。ですから、5月15日には市民のみなさんにもうんとお祝いしてもらいたい。それまでに明石架橋も決定してもらわねばならないが見通しは明かるい。この問題は好むと好まざるとにかかわらず、どう考えたってつくらねばならない問題です。明石海峡だけでなく瀬戸内海沿岸に大きな道路をつくることは必要なことなので、将来誰かがやらねばならず、それを早くやれといっているのです。工費もせいぜい二千億円内外のことです。極端にいい方をすれば神戸市と神戸の財界でつくったらいのですよ。二者がいっしょになったら二千億くらいなんです。有料道路にすればうんともうかるよ(笑)

あなたたちも会社をやめて、そっちの方がいいかも知れない。(笑)

現に第一号線でも心配していたが、今朝も通ったのですが、ゲートでは押すな押すな盛況ですよ。アメリカでは車がゲタ替りですからね。日本もすぐそうなるし、ゲタをはかなければ外にも出られないんだから(笑)

南部 日本の道路工事はなぜこう遅いのでしょうか、それ

市長 なぜ今日の日本の道路状況がこうなるのか、それ

は、民主主義のせいですね。買取するといっても、相手がいやだといったらそれまでですよ。退去命令が出せないのです。昔はそれができた。結局個人の権利が強すぎる。外国では委員会が決定したらさっさとやっていますね。反対すれば裁判させる。買取のための金はちゃんと置いてあり、仕事は計画通り運ぶ。それでいいんですよ。日本はそれができないのだなあ、民主主義の世の中ではダメなのですよ（笑）

★大きな見地に立って

牛尾 市長さん、私は神戸青年会議所創立から八年になりますが、その間ずっと原口市政のもとに活動してきたわけです。八年前と現在とくらべると相当、市の動きは発展してきたと思うのですが、われわれ青年会議所が市長に魅力を感じていたのはほかの市長と違って、非常に夢みたいなことをおっしゃる（笑）大物といっているのはおかしいが明石架橋の問題を最初に、近畿経済圏、道路問題その他神戸市というものに密着せず、大きな地域を考慮しておられる。そういうことがわれわれ神戸青年会議所としては魅力になっています。また青年会議所の立場で全国全体で活動しているものにとってはたいへん共鳴できるのです。しかし一般市民の人たちは非常に小さく神戸



南 部 圭 三氏

市を見ているという考え方もあり、市長は一体市民を見ているのかどうかという批判もあるわけです。これに対して神戸市の中の開発とか社会問題に対して、今年はどういう風に見ておられますか？

市長 私の考えているのは今年、たとえば80億の予算を組んである。その80億の予算でそれを動かしている一万五千の吏員が一生懸命やってくれている。これは地味な仕事です。地味な仕事だからいくらやっても新聞には載らないが、私がちよつと何かいうとパツと新聞に取りあげられる（笑）

だから実際に80億の仕事をしている吏員は注目されず、市長のいうことだけが市の行政のように見えてしまうのですね。西宮や明石の市長さんは何も新聞に載せられることはおっしゃらんでしょう。だから私は何にもいえない方がいいんじゃないかと思うほどですよ（笑）

南部 80億の予算をかけられて、それぞれ吏員の方々が努力しておられるわけですが、我々民間企業からみればまだまだ効率が悪い。しかも神戸は特に給与ベースがほかより、いいわけですから、もっと効率的な動きを望みたいですね。

市長 その通りです。市会や本会議でも問題になったのですが、タテの連絡をもつとよくしろという話がありました。横の連絡が悪いというのは、今の制度が悪いのではなく吏員の考え方が悪いというのです。

自分の仕事以外のことをやっても、たとえば市長にほめられても何にもならないということです。昔なら市長にほめられたら、給料を二給棒あげるとか、三カ月分の賞与を半年分にするとかやれたのです。ところが近頃ではウンと働く人も、ほとんど働かないいねむりばかりしている人も同じなのです。

この制度をもっと変えていかないと、どんな組織をつくってもうまくいかない。会社方面はどうですか。

南部 やはりはじめはお役所と同じあり方であったのですが、最近は評価のある程度の権限は経営者の手にゆだ

ねているところが多いです。

お役所も、半分ぐらいいは一足とびにはなならないかも知れないが、あとの半分は市長さんなり上司の方々の手でそれだけの力を持ってほしいと思うのです。市民はそれに対して文句はいわないと思うのです。文句どころかむしろそれを望んでいるのではないでしょう。市民のために勇断を持ってあたっていただくことは神戸市のためにもいいのではないですか。

牛尾 青年会議所も南部新理事長に今年は5月15日の開港一〇〇年を目標に、明石架橋の問題のほか、真剣に取り組んでもらって、この市長の方針を助けるということとで全力投球をしてみようと思うのです。

先日神戸で開かれた会員大会も無事終了いたしました。神戸に対するひとつの考え方なり、神戸という地点というものを全国的に認識させたということがいえます。神戸の市長は変わっているということが青年会議所としてたいへん魅力を感じていますね。したがって非常にやりやすい（笑）

市長 青年会議所が僕に魅力ではなしに、神戸の町に魅力を感じなければならぬ。

神戸は山近く、海近く、細長く、しかも神戸の町には有馬温泉というものがあってこんな環境のところは世界のどこにもないですよ。

マルセーニへ行ってもシアトルへ行っても神戸に似ているというが、ちがいますよ。ベニスでもたんぼの中じやないですか。日本の漁村のようなところでしょ。

だから神戸の町は世界的に大きな町にしなければならぬ。神戸の須磨海浜公園から舞子公園あたりね。それから離宮公園はぜひ整備したいと思います。

南部 それから公害なのですが、自動車の排気ガスで、かなり樹木がいたんでおりますし、その点でもっと細かい注意が望ましいのですが。

市長 自動車の排気ガスの問題は、自動車の製造の構造から規定しなければならないと思うのです。

そういうことを考えますとね、神戸が将来、人口二百万になっても大丈夫ですよ。明石海峡があって、播磨灘があって、大阪湾があるわけです。北の方には高い山があり、空気が流通する。沈滞しないということですよ。これは人力ではどうすることもできない、神戸市としては非常にめくまれていますね。

そういう意味においてはめくまれている地形に必ず発展する素地があるということですよ。

★神戸を関西の中心都市に

牛尾 神戸青年会議所も今年で九年目をむかえるのですが、最初の5年間はこん親団体的なものであったが後半のラインに入ってきたので先日の全国会員大会を基点として今、南部理事長がいわれたように青年会議所は「行動する団体」ということをはっきり打ち出してもらいたい。ただ単にビジョンづくりだけでなく、実質的に政治・経済、その他いろいろの問題を、むしろ未来のビジョンに想定して前進することが青年会議所のよさであると思うのです。

市長 私が思うのに行政圏と経済圏は違うものですよ。われわれは行政圏のなかにたてこもって、がちやがちややっちゃいかんというものです。

大きな経済圏のなかで、われわれの行政は経済圏についていくのにどうすればいいかということを考えなければ本当の発展はないと思うのです。たとえば尼崎と大阪市を兵庫県と大阪府だからといって、そこで電話を別にするというとはいけない。尼崎も大阪の電話でけっこうですよ。そういう風に経済圏はいっしょなのだからそれを行政圏が別だから別々にしろという考え方はいいない。経済圏は小さくないのだから経済圏について行政を考えなければうそだと思う。私が広域行政を考えろというのはそこなのですよ。

昔は経済圏が小さかったから、また弱かったから行政圏に経済圏がついていた。今は反対ですよ。

それだから青年会議所はもつとあばれてもらわにやいかん(笑)

南部 来年度は青年会議所のひとつのフシにあたって大事なときです。神戸青年会議所も今年からは全部昭和っ子にバトンタッチされる曲り角なんです。

なかでも政治に対する関心がうすいということ。これは過日の知事選でもまたその前の生田区市議選にしても投票率が非常に悪かった。一番身近な問題ですらこういう状態だ。政治家が悪いからオレは知らないという態度はいけない。ホワイトカラーなんか特にうまくみられますがわれわれ青年会議所のメンバーのなかにもそういう傾向があります。今後はいい意味での関心を持たねばならない。棄権することにより逃避してはならないのですよ。

今年は委員会をつくって政治問題にも取り組み、青年会議所の内部は勿論、市民の関心をもうながすように、すすんで政治を正していかなければならぬですね。

牛尾 そこで南部理事長にお願いしたいのは、今まで青年会議所は他団体との協調体制が少なかった。公害問題に関しては県警本部とか、交通安全協会、緑化協会と。社会福祉についてはOAAとか婦人会、青年団、ボーイスカウトなど他団体との協調体制を多くとった方がいいと思いますね。協調作戦でそれらの団体と開港一〇〇年祭に青年会議所はどういう協力体制をとればいいのかという目標も持って突進してほしいですね。

南部 川崎重工の砂野社長にもいわれたのですが、青年会議所にはおおいに期待をかけているのだから、来年はどんなにいいことをいえ、いいすぎてもいいつくれ、そうすることが神戸の経済界を発展させ、政治をまっすぐにさせることになるのだから、いふなれば青年会議



所のメンバーは紅衛兵たれとハッパをかけられました。市長 夢みたいな話であるようですが、将来、関西の中心は神戸になると思うのですよ。なぜかというと神戸は瀬戸内海をひかえているからで瀬戸内海の両岸が発展するとそのノド首に神戸があたるからなのです。神戸を中心として外国の連携をする。そして神戸と瀬戸内海沿線をバージでむすびつける。バージラインシステムで輸送系統を確立しようと思うのです。現在、山陽方面に中国縦貫道とか海岸に一本高速道路という話もぜひやらね

ばならない。南日本国道で明石架橋と通じる道路もしかりです。ところがこの道路ができたあと、車はすぐにはいっばいになりますよ。また一本つくとすればこれはたいへんです。できないとなればこれに変わるべきものには瀬戸内海がある底のあさい一万吨か二万吨級のバージを作るのですよ。押し船でもいいのです。高速道路が三本も四本もあると同じくらいの力を発揮します。ロッテルダム港がそうなんです。昨年一年間の輸出入貨物取扱量がニューヨークで一億トン、ロッテルダムは一億一千万トン。神戸港は四千二百トンですから三倍に近い。人口一千万のオランダの港がどうして世界一の港になったか、それはうしろにライン川をひかえているからでライン川で三千トンくらいのバージがひっきりなしに通っている。そしてライン川の両岸には高速道路が縦横に走っているという。しかしそのメインはライン川で、輸送路なわけです。神戸もだからやれというのですよ。そうすることが将来、神戸が日本を中心になると思うのです。神戸は日本で一番発達する町だと思えますね。また市長は夢みたいなことをいいたいわれるかも知れないが、あなたたちのお孫さんの時代には必ず今私のいっている通りの町になりますよ(笑い)

経済ポケット ジャーナル

万博までに商工貿易
センター

30階の超高層ビルを建設

神戸開港百年を記念して神戸市、神戸商工会議所が協力三十階建ての超高層ビル「神戸商工貿易センター」を建設することになった。

目下、東京で建設中の三井ビル（三十六階建て百四十七層）に次いで日本で二番目、西日本では一番高いビル（百層）で、四十二年五月着工、四十五年の万国博までに完成させる計画。

このビルは神戸市が計画していた貿易センターと商議所の新ビル建設を合わせて一本にしたもので、葺合区磯辺通りの旧イーストキヤンプ跡などの用地を物色中。六千六百平方メートルの敷地に本館（三十階建て、百層）と二階建ての別館、延べ面積四万五千平方メートルを建設する。別館は神戸市で初めての常設見本市会場、展示場とし、本館には商議所をはじめ内外の経済、貿易、海運関係の官公庁、民間企業、各種団体がはいり、総合的な貿易業務をめざしている。



神戸商工貿易センタービルの完成予想図

る。また別館地下は駐車場や商店街を予定している。有岡神戸市助役、菊地経済局長らは「超高層の貿易センタービルづくりは世界的なブーム。日本一の貿易港神戸のシンボルとして万国博には完成させて、ひとつ神戸経済の地盤沈下を吹き飛ばしたい」と大変な意気込み。

サンゴ採取に潜水艇

原始的なサンゴ採取方法にとつてかわって、三百五十層までもくくれるサンゴ採取用潜水艇がつくられる。これは日本珊瑚漁業協同組合（神戸市生田区、新谷虎重理事長、組合員四十二人）が来春早々川崎重工業に発注するもので、母船付

きで行動範囲の広いのが特徴。サンゴの調査、採取だけでなく、各種の海底資源調査にも利用できるユニークな潜水艇。安全潜航三百五十層、水中速力二ノ、水中航続時間三時間。操縦者一人をふくむ三人が乗り組み、十個の照明灯で海底を照らし、船体下部にあるマジックハンドでサンゴを採る。写真撮影装置や水中テレビも取り付けられ、船舶は一億三千万円。母船は後部に潜水艇を納める仕組みで全長二九・五層、幅七層深さ三層、百九十ノ、速力十二ノ。建造費五千万円、淡路島にある寺岡造船がつくる。サンゴ採取の新戦力になるのは四十二年春以降だが、大量のサンゴを計画的に採取、価格安定、輸出振興に大いに役立つ。

カラーテレビ 神戸でも九万円台

九万円台のカラーテレビが神戸市内でも売り出され話題をまいた。カラーテレビ

びの安売りは東京の百貨店が火付け、その後公取委が価格協定に疑いありとメーカーにメスを入れたり、通産省が値下げ指導に乗りだすなどで、ポナナス片手のサラリーマンを刺激した。神戸で安売りの火の手を上げたのは星電社（後藤博雄社長）。ナショナル、三菱東芝など一流メーカーの十六型を九万八千八百円（定価十七万五千円）で売りに出したこの十六型、メーカーは三年前にはほとんど生産中止、いまでは原価で約二万円の差しかない十九型に主力を移し、いわば在庫整理されたわけで、星電社のような大型店にはうってつけの「宣伝」品となった。ともかく十六型の安売りをきっかけに新型カラーテレビの値下げはもう早や時間の問題だが、輸出用カラーテレビがFOB価格で六万六千円なのだから、うんと安くならなければ一般庶民にはまだまだ高根の花。

KOBE オフィスレディ



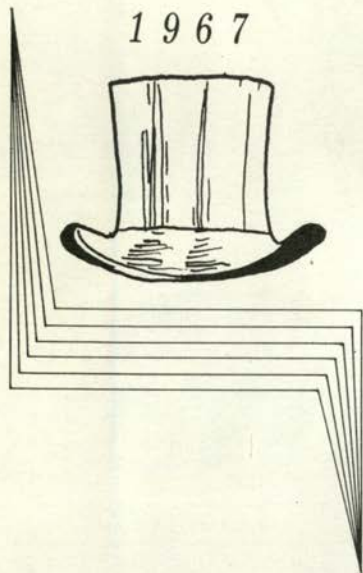
横 野 勝 美さん（21）

大丸神戸店顧客課勤務

趣味は読書。外国文学が好きで今「アンナ・カレーニナ」を熱読中というお嬢さん。エレベーター、エスカレーターと、お客さまに気持ちよく接するのがお仕事で明かす性格。職場での信頼も厚く、班長さんの重責を背負っている。住いは高砂で遠く毎日の通勤はまるで旅行をしているようだと話してくれた。4人姉妹の末っ子。高砂高卒。

A HAPPY NEW YEAR

1967



若人の服飾《マック》

MAC

★三宮本店 / 神戸センター街 ☎0895 ★トアロード店 / センター街西口 ☎0896 ★新開地店 / 新開地本通り ☎7688
★姫路店 ★京都店

あけまして
おめでとう
ございます

1967年 元旦



味覚のたのしみ 贈るよろこび
ゴーフル

神戸にそだって 70年

 **風月堂**

元町3丁目 TEL ☎2412-5
さんちカスイーツタウン TEL ☎3455



A
HAPPY
NEW
YEAR

あけましておめでとうございます

今年も〈ゴンチャロフ〉から格調高いファンシーチョコレート
のゆたかな香りをおとどけます。年月をかけて磨き上げた、
風味とロマノフ王朝時代から守りつづけた名門の香りを〈ゴン
チャロフ〉のキャンデーと共に今年も、ぜひ、ご賞味ください



チョコレート*キャンデー

ゴンチャロフ

神戸市生田区加納町4の1

●パイオニア神戸



1 伊藤博文

有井基

慶応四年一月十四日

天皇親政を各国公使に通告するため、参与外国事務取調掛、東久世通禧（みちとみ）一行が、兵庫港に着いた。その中に気鋭の青年がいた。徴士伊藤俊介。二十八歳。かれには、やりたいことが山ほどあった。また、やりとげる意思、やれる自信があった。

何年か前なら、長州のいなかで、足輕に毛のはえた輕輩として、夢はらむことなくおわたたかも知れない。それが幕末の風雲に乗じ、二十三歳でイギリスに留学。見聞きするすべてが驚異であった。日本はあまりにも幼稚すぎる―このじれつたい思いが、かれをつき動かすエネルギーを生んだ。

兵庫はその年一月一日に開港したばかり。英、米、仏独、伊、蘭の六カ国公使がいた。着いた翌十五日、新政府代表七人は運上所で各国公使と会い、天皇初の国書を手渡した。時に滝善三郎の英人殺傷事件（「神戸事件」）で、三宮の海岸線は英米仏の水兵による占領状態。当然滝の処罰とその責任を問われた。新政府が一国の代表なら、責任は政府がとれという。こばめば砲火にさらされることは必至だった。結局、善三郎は切腹。兵庫の永福寺における「ハラキリ」には俊介が立ち合った。この事件は、開港直後の空気をよく物語っている。

十六日、俊介はイギリス公使館員E・サトウをたずねた。その時「土地、家来、財産のいっさいをミカドに返

上して有力な中央政府にならないかぎり日本は強国にならない」と語った。いわば「藩主」の存在を否定する発言だ。その秋、木戸孝允、大久保利通から相談をうけて版籍奉還を提案したのも、新しい開港場兵庫の自由な背景が、なにほどか作用していたといえないだろうか。

土台定まらぬ新政府は、日ごと行政機構の改革と人事異動を行なった。俊介は二十五日参与外国事務掛に、二月二日外務事務局判事に、同六日兵庫鎮台は兵庫裁判所となつて東久世通禧が総督、俊介が外務全般をとりしきることになった。

かれは兵庫の運上所に陣取った。新政府の外務省ともいえる役割りである。まさに腕のふるいどころだ。七日「居留地工事がはかどらない、なんとかしてほしい」と外人が要求してきた。生田川から宇治川までの間にかぎって雑居の許可を即断。十四日には、運上所の外務掛を神戸総会所（いまの神戸小学校）に移した。そして自身は神戸の有力者橋本藤左衛門の別荘橋本花壇（のちの吟松亭、いまの生田区北長狭通六丁目西南角あたり）から馬で通勤した。

さつそうの乗馬姿は人目をひいた。ザンギリ頭に洋服俊介にすればトップモードだ。しかし、徳川幕府の威光がしみついていっている人心には、お先っぽしりの新米としか写らなかつた。「坊主奉行」とアダ名し「アホらしい」と聞けるかい」とカゲ口した。さすがのハイカラ青年も、人心取らんのため、人にすすめられて、結髪したという。

「世の中が変わるそうな」——人びとには不安と期待があった。が、それだけに新旧政府のいずれにつくか、ためらつた。そうした中でも、率先して官民の橋渡しを買ってでた者もいた。たとえば宇治野村の百姓莊右衛門。俊介が着任当時、肉類を外人に売ると長州兵につかまるとデマが流れ、外人は肉を断たれた。外人に泣きつかれた俊介は、莊右衛門に命じて風呂ヶ谷の里人を説得、屠牛を再開させた。俊介の治績の一つ、神戸病院はこの莊

右衛門が敷き地を提供したもので、翌二年四月二十日に落成。俊介は莊右衛門に、瀬鴻の姓と帯刀を許した。

また三月には、兵庫の名主北風莊谷衛門、安田総兵衛から出された市兵隊結成の願書を許可、各地からの流れ者と解放気分で、びん乱していた市中の保安警備に当たさせた。サムライの専業を、市民にも許す。こうしたワタの取りはずしは、下級武士出身者独特の感覚だろう。

五月二十七日、兵庫裁判所の管区を兵庫県と改称、俊介が知事に任命された。兵庫神戸町に仮事務所を設けて県庁としたがどうにも不便だ。俊介は兵庫の名主、年寄の反対を押しきって兵庫と雑居地の中間、坂本村（いまの神戸地裁あたり）へ移転を決めた。六月には居留地海岸の二重浪返し約六百坪できあがり、第一次三十六区画を外人に競売した（二二区がそろつたのは三年二月）。さらに八月初旬、箕作貞一郎（麟祥）を月給百円で東京から招き、西の町に洋学伝習所（二年正月、坂本村に新築移転）を開校。洋学普及の糸口をつくった。

九月八日、年号が明治と改元。

俊介が博文という名を併用したのはこのころである。十六日、四百八十畳敷き新庁舎が落成、十八日開庁した。俊介の合理性は、ここでも発揮された。官吏の出勤は午前九時、退出は午後五時。いままなおづくこの定めは、たぶん日本で最初のものだろう。

さらに、贈りものを受けることを厳禁し、官紀をたたし、情実はいっさい認めないことを、きびしく徹底させた。生涯一度として「閥」をつくらず、財も策もなかった俊介は、いちずに中央集権をめざした。藩閥が国家の総合力を弱め、情実人事が行政の墮落を招くことを、知りつくしていたからだ。

県庁の機構も、民政局を郡政・市政にわけ、外務局とならべ三局政務とした。のちに三等級のサラリー制をと、ほぼ県政の原型をつくつたのも、かれの近代的な政治感覚を示しているよう。

十一月一日「神戸、二ツ茶屋、走水三村を以て神戸町

という」と達しをだした。同時に総年寄を名主と呼びかえ、兵庫と同格にあつたことを決めた。貿易港の将来は、居留地を中心とする東部が負う、と見抜いていたからである。

明治二年一月九日付の新聞「もしは草」は、外国通の俊介が外人を手ぎわよくあつかい、神戸の港も早くひらけて、日本人と外人の仲もむつまじい、と紹介し「大阪神戸のあいだ蒸気車道テレグラフでできること疑なし(略)願済とならば直に外国人取かるべし。しかるときは神戸も実以て繁昌の港となるべし」と報じた。俊介は「まことによき人なり」と好評である。

だが、かれの目は、つねに中央を向いていた、元年十月には「凱旋兵処置に関する建議」、十一月「版籍奉還に関する建白」、二年正月の「郡県制論」。ことに郡県制の提唱は、旧藩主たちを藩知事の名で温存することの非を前提としたもので、出身の長州藩内部からも非難、中傷がでる始末。ついに二月四日、かれは辞表を書き送った。政府は辞任を認めはしたが、「知事として久我維磨を送る、あなたは判事として助けてやってほしい」という返事。久我もそのあとの中島錫胤も赴任せぬまま六月二十二日、陸奥宗光が知事と決まった。陸奥は、俊介を中傷

から弁護してきた。また後にはカミソリ大臣といわれ、総理伊藤とのコンビで日清戦争を指導した。この二人が連署で外国公使へ交替のあいさつ状をだしたのが七月一日。東京へ呼び戻された俊介は、大久保、岩倉具視らのはからいで大蔵少輔、八月には民部少輔を兼ねて、いよいよ明治憲政火の中心人物として動きだす。

六十九年の生涯のうち、俊介が神戸にいたのはわずか一年半。しかし、その一年半は俊介のスタートであり神戸の新生期。はたした役割りは大きかった。湊川をへだ



二度建てられた博文の像も今は台座だけ残っている<大倉山>

て明治十年まで完全に没交渉だった兵庫と神戸が、交流したきっかけも伊藤博文に関係がある。同年、明治天皇の巡幸にさいし、湊川の琴平橋詰（いまの松竹座北側あたり）に、館（やかた）が設けられた。これは兵神両港の人が初めて相談し、双方で負担したもので、天皇帰京のあと名代として亭にのぞんだのが博文。かれは「快楽亭」の扁額を揮毫、両港の人と語り合った。兵神のつき合いは、それ以後、円滑になったという。

「快楽亭」とは、いかにも、あけっぴろげの博文らしい。神戸では柳原の奈良屋、伊勢情など茶屋に足しげく通い、直接そこから出勤もした。生前、かれに対する民衆の批判で、まず口をついてでるのがその好色ぶり。正岡芸陽のごときは、著書「嗚呼売淫国」の巻頭に博文の写真を掲げ、読者は必ずこの写真にツバをはきかけてから読め、と註を入れた。芸陽によれば、新橋の芸奴梅香、役者の市村家橋とならぶ「日本の三大醜」で「売淫の権火、梅毒の化身」だという。売春制度の非人道を怒るあまりに「婦人の敵」呼ばわりしているのだが、神戸に遊郭を、つくったのも博文であった。

慶応四年二月十九日、神戸運上所の名前で相生町の浜手で「遊女屋を許可するが、取り締まりを厳重にするのでモグリはいけない。遊女屋を開きたければ、女の身許をよく調べて申しでてから商売せよ」と布達した。湊川の洲崎高浜新田（いまの神戸駅付近）、福原遊郭のはじまりである。

売春制度を「必要悪」と認める背景の一つに、博文の生理があった。かれが一生に関係した女性数は数知れない待合升田屋の浜子、武田屋のお虎、向島の百合、岐阜の金華、赤坂林屋の浜子、そして神戸常盤尾のお国……。のちに三宅雪嶺は「伊藤公の女に対するのは、必ずしも多淫多情の結果ではない、ただタバコ一服」程度のものといっているが、睡眠三、四時間でつねに旺盛という精力絶倫型。主治医小山善も「実ニ強壯者ノ標本タリ」と解剖死体をアルコールづけにでもしたそうな口ぶりであ

る。

博文の渾色は、多分に「見栄っぱり」が働いていた。ハイカラを氣どってみたり、後に統監服で短剣をチャラつかせ、新橋の芸者にホメられてエツに入るなど、稚氣に似た自己顕示欲が目立つ。フロイド流にいえば、男が行動するのは女にホメられたいからだ。あるいは博文の行動力は、それら女性が源泉であったかもしれない。

かれは最初の妻すみ子と離婚したあと、馬関（下関）の芸者小梅と結婚。内助の功をうたわれた梅子とは四十年間、生涯をつれ添った。韓国統監在任中、険悪な反日感情ウズまぐ中で家族の行く末を案じ、末松謙澄に手紙を送った。大磯の空気は、梅子に適しているので終身そこに住ませてやりたい。また金は公債を買い入れて……とこまごましたためた。逆説めくが、梅子が賢婦であったからこそ、かれは安心して浮わ気をたのしめた、ともいえるだろう。

博文の銅像は二回、神戸市内に建てられ、二つとも消えた。明治三十年ごろ日清戦争の勝利を記念して湊川神社境内に建てられたものは、三十八年九月七日の夜、群衆によって倒された。日露講和は屈辱外交だと反対する群衆は「伊藤の好きなのは女郎だ。福原へ連れていけ」と、市中をひきずりまわし、福原口へ投げ捨てた。以後の消息はさだかでない。二度目は同四十四年、殉難をいって大倉山に建てられたが、第二次大戦で「徴用」され、いまは台座だけが子供たちの遊び場になっている。四十二年十月十六日朝、枢密院議長として満州を歴遊していた博文は、ハルビン駅頭で韓国義兵軍の安重根にピストルで狙撃され、六十九年の生涯を閉じた。昏睡の直前、かれは、うめくようにいった。「バカなやつだ」。

（おもな参考書目）

◇中村菊男「伊藤博文」時事通信社◇村田誠治「神戸開港三十年史」（上）神戸市開港三十年記念会◇沢田謙「伊藤博文」偕成社

伸びゆく **菊水總本店**
瓦せんべい

創業明治元年



株 式 会 社

菊水總本店

TEL (35) 1801 (代)

謹 賀 新 年

今年もよろしく願い申しあげます



↑ カール・ツアイス、ローデンストックなど世界のメガネを集めてお待ちいたしております。

↑ 顕微鏡・望遠鏡・航海計器……
光学品のことならなんでもお気軽にご相談くださいませ。

服部メガネ店

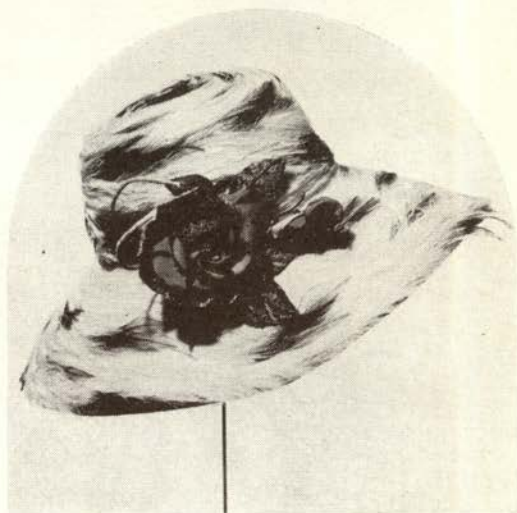
大丸前 TEL (33) 1123

A HAPPY
NEW YEAR



美しさを創る
オートクチュール
アスターニエートン
コーベトアロード 三三一一八一八
オーサカハンシン 三六一一一二〇一

A HAPPY
NEW YEAR



マキシン 帽子のおもめは
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL 神戸33-6711-3 TEL 東京535-5041